

第5節 学習上の悩み

【勉強方法では「①上手な勉強の仕方がわからない」が34.6%。学習内容では「③どうしても好きになれない科目がある」が65.7%。学業達成・競争では「⑤もっと成績をよくしたい」が78.2%と非常に高い値。「⑥勉強で友だちに負けたくない」も55.2%であり、友だちの競争相手化がみられる。成績別には、勉強方法や学習内容については、成績下位の者ほど悩んでいる割合が高い。また、学業達成・競争については、「⑤もっと成績をよくしたい」は成績上位が71.8%に対して下位が83.2%と下位のほうが悩んでいる児童が多い。反対に、「⑥勉強で友だちに負けたくない」では成績下位が50.3%に対して上位が61.4%と上位のほうが悩んでいる児童が多い。学習の目標喪失については、成績上位者の8.0%に対して下位者は14.9%で、下位者のほうがやや悩む割合が高い。】(図2-9、図2-10)

Q11

あなたは勉強について、つぎのように思うことがありますか。そう思うことがあるもの全部に○をつけてください。

図2-9は学習上の悩みの有無について尋ねた結果である。

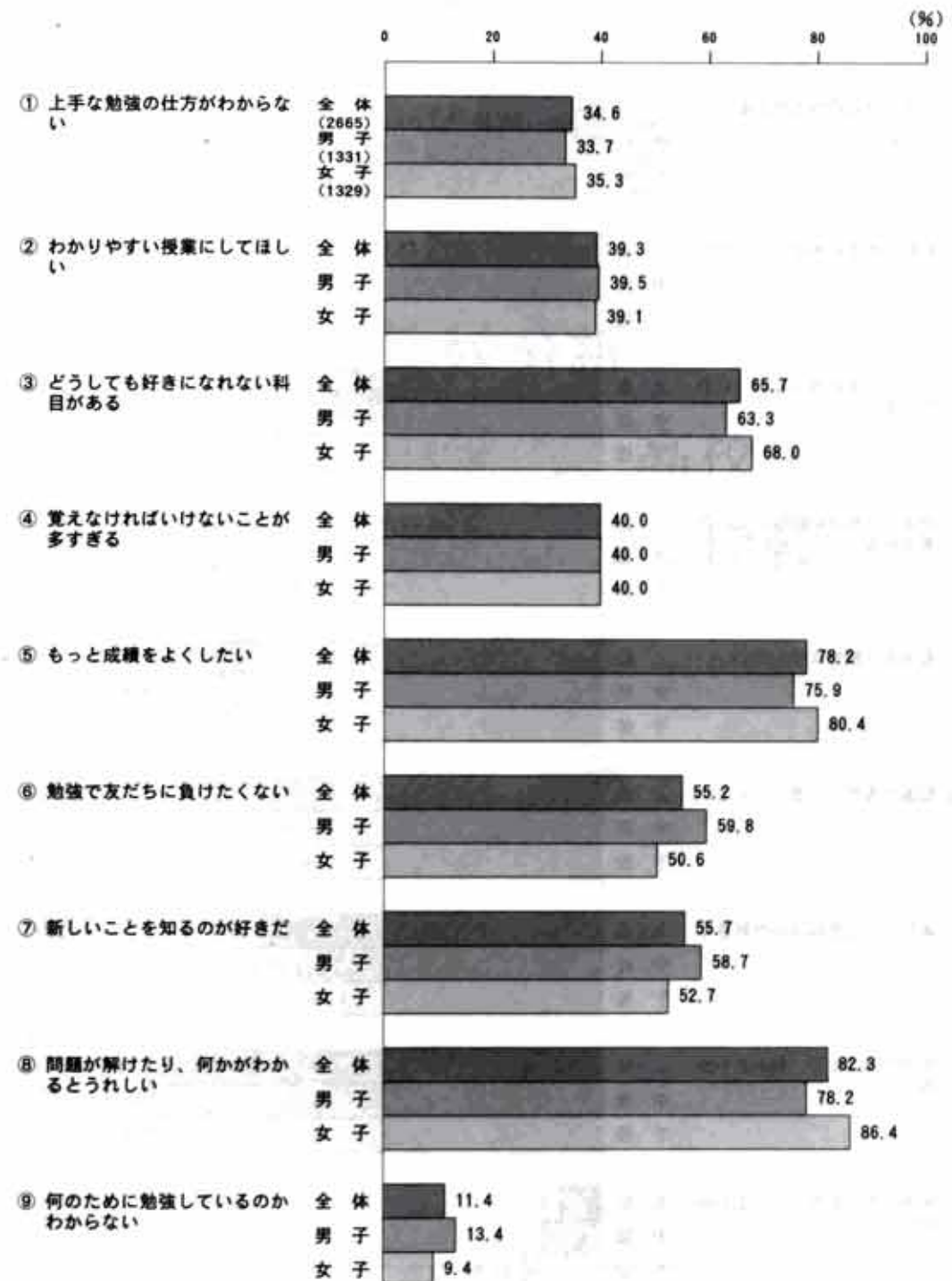
まず、勉強方法の関連では、「①上手な勉強の仕方がわからない」が34.6%と3割台の値となっている。学習内容との関連では「③どうしても好きになれない科目がある」が65.7%とおよそ3分の2の児童が好きになれない科目の存在をあげている。また、「④覚えなければいけないことが多すぎる」が40.0%、「②わかりやすい授業にしてほしい」が39.3%となっている。

学業達成・競争の関連では、「⑤もっと成績をよくしたい」が78.2%と非常に高い値になっているが、「⑥勉強で友だちに負けたくない」も55.2%で半数の児童にとって、友だちが勉強の競争相手化している。学習からの内的喜び・達成感と関連しては、「⑧問題が解けたり、何かがわかるとうれしい」が82.3%と多くの児童が達成感を得ている。しかし「⑦新しいことを知るのが好きだ」は55.7%であり、好奇心の強い小5にしては少ない値になっている。学習の目標喪失については、「⑨何のために勉強しているのかわからない」は11.4%と1割強である。

性別には、あまり大きな差はみられないが、「⑥勉強で友だちに負けたくない」で男子が女子よりも、「⑧問題が解けたり、何かがわかるとうれしい」で女子が男子よりも多くなっている。

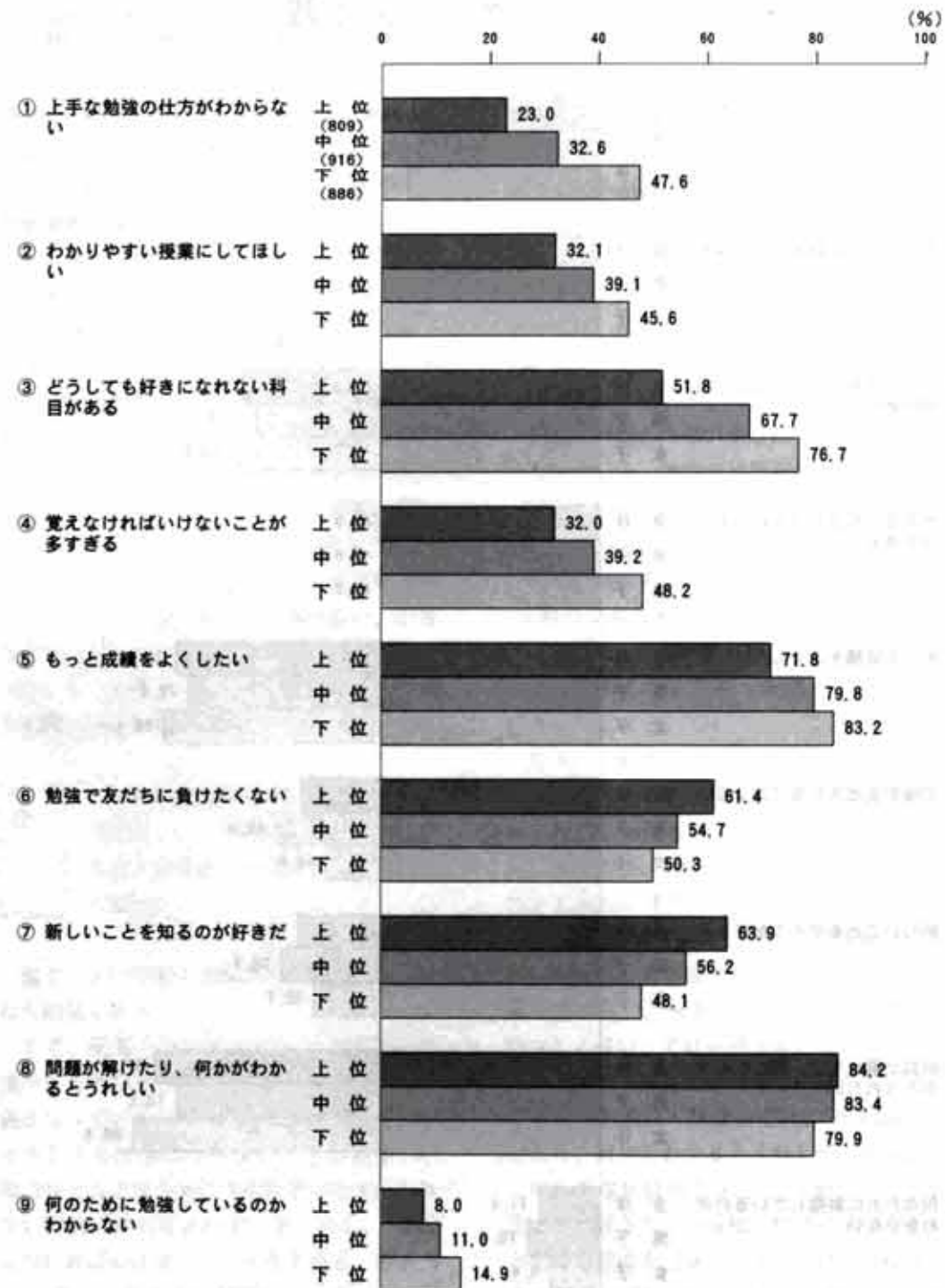
最後に、図2-10で成績別に学習の悩みをみると、多くの項目で成績ごとの顕著な差がみられた。勉強方法(①)、学習内容(②、③、④)では、成績下位の者ほど悩んでいる割合が高い。また、学業達成・競争では、「⑤もっと成績をよくしたい」は成績上位の71.8%に対して下位の83.2%と下位のほうが悩む者が多い。反対に、「⑥勉強で友だちに負けたくない」では成績下位が50.3%に対して上位が61.4%と上位のほうが悩んでいる。学習の内的喜び・好奇心では、「⑧問題が解けたり、何かがわかるとうれしい」が成績ごとの差異は比較的小さく、「⑦新しいことを知るのが好きだ」は成績上位者のほうが多い。学習の目標喪失(⑨)については、成績上位者の8.0%に対して下位者は14.9%で、下位者のほうがやや悩む割合が高い。

図2-9 学習上の悩み



注) ()内はサンプル数。

図2-10 成績別にみた学習上の悩み



注) ()内はサンプル数。